

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）		成果と課題(中間)			改善策・向上策	
領域	対象	評価項目	評価の観点	A	B	C		
教育活動	教育課程	新教育課程について問題点等を検討する。問題点が提議されればそれについて議し、修正を行う。	(1)本校生徒の希望する多様な進路実現が可能な教育課程であるかを検討できた。 (2)新教育課程に修正が必要か十分検討できたか。	○	○	○	・現行の教育課程については、新学習指導要領最初の学年が卒業して各教科で検討し、次年度以降も検討を継続する。 ・赤穂総合学科新校(仮称)について、新校準備委員会からの意見をふまえて検討を継続する	
	進路指導	(1)主体的な進路選択と、個に応じた進路実現を支援する。 (2)生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化を図る。	(1)支援を充実させることができたか。 (2)情報の共有化を図ることができたか。	○	○	○	・進路選びの際には実際に見て体験してみる必要があり、進学や就職の生徒に、オープンキャンパス、進路相談会、企業勉強会に参加するように積極的に促す。 ・担任や保護者の不安がないように、書籍やWebの情報を有効に紹介し、利用していく。	
	キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を推進する。	キャリア教育の推進ができたか。	○	○	○	・進路選びの際には実際に見て体験してみる必要がある。そのために進学や就職希望の生徒に、オープンキャンパス、インターンシップ、企業勉強会に積極的に参加し、直接色々な人からの話を聞けるような機会を作る。またそのような情報を流す。1年次から行っている探究授業を通じて、キャリア教育への理解を深める。	
	学習指導	生徒が探究的な学びを進め、主体的に学ぶ姿勢を育むための学習活動を充実させ、学力向上を目指す。	(1)生徒の意欲喚起につながる授業改革を進めることができたか。 (2)「学習活動の記録」「総合的な探究の時間」について教科・学年・係等の計画・実践を職員間で共有し、次年度への改善策を検討できたか。 (3)補習・特編授業・学びの基礎診断等について教科・学年・係間の連携・調整ができたか。 (4)ゼミフォロを作成させ、生徒の学習意欲維持に働きかけられたか。	○	○	○	・生徒の学習意欲の把握及び生徒の学習意欲につながる授業改善については、個人、学年及び教科内のみでの情報共有にとどまらず、学校全体として検討できる機会を持ちたい。 ・探究学習については、3年間を見通したシラバスを作成し、学年ごとに任されている現状を打破していきたい。	
	人権平和教育	よりよい社会の実現に主体的に協働して取り組む生徒の育成を目指し、学校生活のあらゆる場面において人権平和学習を推進する。	(1)全校の取り組みとして憲法学習・平和学習・人権学習を実施できたか。 (2)各学年の計画・実践を職員間で共有し、次年度への改善策を共有できたか。 (3)道徳教育の全体計画を作成実践できたか。	○	○	○	・限られた時間の中で深めさせた1つのテーマを絞っていくが、社会情勢にも合わせながらテーマを決定し、それぞれの学習につなげていきたい。	
	図書	(1)本に興味を持ち、自主的に読書ができる環境を整える。 (2)教科指導や探究的な学び、進路指導などに役立つ資料・情報提供の支援を行う。	(1)新着図書紹介や読書に関する様々な情報を図書館から発信できたか。 (2)生徒・職員が必要とする資料やサービスを提供できたか。	○	○	○	・図書館だけの回数や掲示更新を多量実施し、さまざまな資料情報を利用者に発信する。図書館のクラスルームも活用していきたい。進路や授業で必要な知識や情報について本のみならず新聞や論文等多様な媒体をつかって質問者が納得するよう行動する。利用者の資料欲求や情報欲求に対して、最大限より具体的に対応する。委員会活動を通じて生徒にとって図書館が身近な存在になるように努力する。	
	視聴覚	(1)芸術(音楽)鑑賞を通じて、芸術に触れる姿勢や態度を育成する。 (2)ICT活用能力と情報モラル教育を推進する。	(1)芸術鑑賞時のマナーを身につけられるか。 (2)探求や情報、特別活動を通じて、ICT教育の推進と情報モラル教育を定着することができたか。	○	○	○	・来年度も、芸術鑑賞を通し鑑賞マナーを身につけたい。 ・ICT教育の推進とともに、SNSの使い方の情報モラルの推進を図っていくたい。	
	生徒指導	(1)挨拶の励行・身だしなみの改善を図る。 (2)公共施設等でのマナー・モラルの推進を図る。 (3)生徒が安全で安心して生活できる学校および学習環境整備を図る。 (4)人権教育の推進を図る。	(1)挨拶や身だしなみに自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2)乗車・自転車マナーなど登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3)安心して学校生活ができる環境が整えられたか。また、清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4)いじめ・暴力などの事案に早期に対応し、毅然とした態度で対応ができたか。	○	○	○	・全職員で共通認識を持ち指導できているので継続していきたい。特性を持つ生徒に関して特別支援係と連携しながら指導できているので継続して行きたい。自転車事故が多いことが課題であるので事故防止の啓発を継続するとともに、ヘルメットの努力義務化に関して、着用率が向上するように啓発を強めたい。	
	教育相談	(1)様々な課題を抱える生徒への対応を行う。 (2)いじめが起らない体制作りを目指す。 (3)学年や関係の係との連携を密にしたり、職員間での情報の共有を図る。 (4)関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1)職員全体で生徒の言動を把握し、情報の収集ができたか。 (2)定例の会議等で生徒の状況を把握し、担任・学年会・関係の係との連携がとれたか。 (4)スクールカウンセラーや医療機関など、外部との連携がとれたか。また、校内で協力の改善が図られてきたか。	○	○	○	・全職員での情報の収集・共有を継続する。また、SCやSSWを含めた支援会議を定期的に開催し、不登校や支援を必要とする生徒への手厚い支援環境を作る。事例研修会などを実施し、職員の支援への意識を高める。	
	生徒会	(1)自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る (2)クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり (3)可能な試みを模索しながら生徒会活動の存続・継承を行う。	(1)生徒会活動を通じて、生徒に成長がみられたか。 (2)クラブ活動への加入率は良好であったか。また、各クラブが可能な範囲で活動を行えたか。 (3)これまでの生徒会活動を精査し、新しい活動について次世代に継承できたか。	○	○	○	・役員決めの主体を前役員が決められる伝統的な生徒会活動として継承されていく流れができてくることを想定し、次年度以降の運営に関わる基盤を整えることができた。行ってきた行事について反省を踏まえ、加えること、削ることをセットにしてアップデートをすることができた。学習等に影響を出さないスケジュールで年間運営することができた。	
	美化	(1)校舎内外の美化。 (2)ゴミの分別を徹底する。	日々の清掃活動およびゴミの分別やその周知が適切に行われたか。	○	○	○	・分別を徹底できるよう来年度も呼びかけをおこなってきたい。また来年度は可能であれば校外の清掃活動も検討したい。	
	保健	(1)生徒が自身の身体と健康に関心を持ち、健康管理・正しい健康行動が取れる事を目指す。 (2)公衆衛生を心掛け、ウイルスなどの感染症蔓延防止策を取ることの重要性を共有する。	(1)正しい健康情報の提供ができたか。 (2)健康観察や予防行動が適切に行われ、感染症対策が行われたか。	○	○	○	・きずなネットを活用し、生徒・保護者・教職員へ保健だよりを配信した。 ・毎日の欠席者・出席停止者を担任がネットワーク・C4thに入力してくれたおかげで生徒の健康状況、感染症状況の共有ができた。	
	庶務	(1)新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、状況に応じて行事や授業計画の見直しを行い、持続的な学校運営を図る。 (2)生徒の学校教育活動に制約がある中、学習を支援するため環境整備を行う。また、ICT委員会との連携で情報機器の活用を進める。 (3)ICT委員会と連携し、オンラインでの学習を進めるための職員研修を企画する。 (4)学校の公開や体験入学などでの行事を通じて、地元中学校や地域との連携を図る。	(1)行事などの変更にあたり、各分掌との連携をとり、状況や生徒の実態に合わせて無理のない見直しが行えたか。 (2)ICT等を活用し、生徒がオンラインで学習するための支援ができたか。 (3)生徒が家庭でオンラインで学習する場合に備えた研修などができたか。 (4)地域や中学校の要望に対して配慮がなされたか。	○	○	○	・学校行事については、今年度の卒業式に在校生も参加する形式に戻すなど、ほぼコロナ前の状況に戻りつつある。一クラスのみ学年閉鎖を行ったが、適宜オンラインを活用して課題配信するなど学習機会を保障することができた。 ・2年生、3年生に各1人登校できない生徒がいたが、学習意欲に応える形でオンラインでの出席を認め、学習機会を保障することができた。 ・地域との交流機会をさらに増やしていき、中学生から求められる赤穂のあり方を理解している。	
	広報	(1)学校行事や生徒の様子をパンフレットやHPを通じて積極的に発信し、保護者、地域、中学生などへの理解推進に努める。 (2)校内ネットワーク管理者と連携して、情報の漏洩や不正使用を防止する観点から、適切な情報資産の整備・管理を行う。	(1)時機を捉えられた情報発信ができたか。また、発信した情報等において表現が適切であったか。 (2)学校の業務に必要とされるデータの整備・保存が行われているか。不要な過年度のデータが保存されていないか。	○	○	○	・生徒・高校の活動情報が、保護者、地域、中学生に対して伝わるように発信できるように今後も、HP、パンフレット等に工夫を加えることに努める。 ・情報の提供や収集については、すべての職員が協同して行い、情報発信を心がける。	
	防災	(1)防災を現実的なものと想定し、生徒および職員の具体的な行動を設定し、日々の防災意識を高める。 (2)校内環境の危険箇所などを把握し、安全な学校づくりに努める。	(1)各種有事(自然災害、火災、他)における対応について、生徒・職員が行う臨機応変の対処方法等を、訓練などを通して浸透できたか。 (2)危険箇所等に関する実態を把握し、対応および改善ができたか。	○	○	○	・防災に対する意識を高め、想定外の出来事に対しても臨機応変の対応ができるようになることも必要である。	
予算施設	(1)教育活動の充実のため、学校予算の運営を検討協議し、適切な予算の執行を行う。 (2)校内施設や設備の管理・運営について協議推進し、安全かつ教育効果を向上する設備への改善等を検討する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修理が適正に行われたか。	○	○	○	・生食用机・椅子について今年度は交換がなく、十分ではない。古くからある備品類を定期的な買い替えを年次計画として盛り込むべき。 ・教室の黒板および白板については今後も更新または修繕の機会を図り、整備する必要がある。 ・学校における必要な設備、物品等は優先した予算運用と単年度の扱いはなく、年度をまたいだ継続的な支出計画があるべき。また、調剤引継ぎが必要である。		
学校運営	学校運営上の課題を明確化し、将来に向けての学校のあるべき姿を検討する。	(1)保護者と職員が協力して生徒のための活動ができたか。 (2)確認しやすい方法での情報発信ができたか。	○	○	○	・6月に実施したPTA作業では多くの会員(保護者)にご参加いただき、ともに気持ちのいい汗を流す機会を持つことができた。 ・本校ウェブサイトを用いた生徒の活動の様子の発信、一斉メールを用いた連絡や案内の活性化に努めている。		
P T A	(1)PTA活動の円滑な運営を行う。 (2)保護者に協力していただけるよう情報発信をする。 (3)PTA活動を精査し運営する。	(1)保護者と職員が協力して生徒のための活動ができたか。 (2)確認しやすい方法での情報発信ができたか。 (3)PTA活動を精査し、より保護者とのより良い関係を築くことができたか。	○	○	○	・行事の参加と活動が活発に再開できるようになってきた。 ・今後も、行事内容も精査して活動を深めていきたい。		
同窓会	同窓会が、本校の教育活動を支援するための橋渡しをおこなう。とりわけ、新校のあり方を検討するにあたり地域、同窓生からの協力を受けることができるよう配慮する。	(1)同窓会が協力できることに対して、日ごろから配慮することができたか。 (2)新校のあり方を、学校職員等と共に検討することができるように橋渡しができたか。	○	○	○	・同窓生が母校のために協力できることを、今後も探していきたい。 ・新校のあり方を、同窓生や地域の方々と共に検討できるように工夫したい。		
学校評議会	学校評議員会を効果的に運営する。	学校の諸課題を学校評議員と共有し、学校外部からの客観的な意見や要望を学校運営に生かすことができたか。	○	○	○	・学校評議員に本校生徒の普段の生活・学習の様子や学校・学年行事等を多く参観いただくような工夫が必要である。その一方で、ご多用の中出席したく学校評議員のことを考えると「年3回」の会議開催については検討が必要と考える。		
安全衛生	教職員の健康管理と職場環境改善に努める。	健康診断・人間ドック、ストレスチェックの全員受診ができたか。	○	○	○	・受診者は増加したが、受診後「要精検・再検査」となった場合、医療機関に繋がっていない。疾病の早期発見・早期治療のため受診を促す等事後措置に配慮が必要である。		
I C T	ICTの積極的な活用を図り、学習における情報を収集・活用すること、情報や思考を共有し発展させる姿勢を育成する	学習における情報収集および学習内容の理解にむけて、ICTスキルを活用できているか。	○	○	○	・職員研修の機会を増やし、スキルアップを進めていく必要がある。AI活用による教材作成や業務改善への研修等を行う。		
将来像検討	再編計画に基づき学校の将来像を考える。	地域の実情に基づいて将来ビジョンを検討できたか。	○	○	○	・2月末現在で5回の新校準備委員会を開催した。新校開校に向けた校内の具体的な準備については、学校運営員と将来像検討委員からなる「新校準備総務」を中核におく新校準備組織をつくり、作業部会と分担、協働しながら進めていくこととした。		

A・・・計画を上回った  
B・・・計画どおり  
C・・・計画を下回った